見 積 書 一 覧 表

【施設】

（単位：円）

見積No	認定時の記号	工 事 内 容	【見積額（税抜）】補助事業に要する経費 ①	①のうち、補助対象外の額		補助対象経費 ②=①-(A)-(B)	見積業者	補助対象外（A）の内容
				面積按分以外（A）	面積按分（B）			
1	A	本社ビル外壁等修繕工事	10,000,000	1,000,000		9,000,000	○○建設（株）	調査費：1,000,000円
2	A	本社ビル内装修繕工事	15,000,000	2,000,000		13,000,000	（株）○○組	応接セット：1,000,000円 官公庁等申請手続費用：1,000,000円
3	B	物流拠点新築工事	60,000,000	20,000,000	8,181,819	31,818,181	○○建設（株）	地盤改良費：6,000,000円 上限額（原状回復費用による減額：14,000,000円
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
合 計			85,000,000	23,000,000	8,181,819	53,818,181		

○「0」記載のセルは、自動計算となります。セルを結合する場合などは、適宜、修正してください。
○見積業者2者以上のうち、最も安価な業者の見積もり内容を記載します。また、その見積書の右上に通し番号を記載します。
　併せて、本書「見積No」に同じ番号を記載します。
○1つの見積書に複数の施設の工事内容がある場合、補助事業計画書の「5（1）ア　施設」の整理番号（認定時の記号）ごとに見積書を分けて記載してください。
　また、この場合、小計欄を設けて、見積書単位の合計額が分かるように記載してください。
○見積項目自体が補助対象外となる場合は、「補助対象外の額」欄の「面積按分以外（A）」に計上し、面積按分によるものは「面積按分（B）」に記載してください。
○「補助対象外（B）の内容」欄には、見積書中、どの項目を対象外としているか分かるように、その項目と各金額を記載してください。（別紙でも可）